

# 守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>

都立定時制高校を守る会・連絡会 事務局発行

## 8/27、都教委へ要請行動

**「定時制の不合格者を  
出さないで！」**

**～今年も 30 人以上の不合格者が～**

定時制の入試に関わって、守る会として、8月下旬に都教委要請を行いました。  
以下が、守る会としての要求項目です。

1. 定時制高校で大量の不合格者を生まないように、中・長期的展望に立った就学計画を早急に策定してください。
2. 定時制高校では特に遠距離・長時間通学は望ましくありません。定時制高校はさまざまな地域に存在することが重要です。したがって定時制の募集枠拡大は、今ある定時制高校の大規模化ではなく、募集停止校の募集再開など学校数を増やす方向で計画してください。
3. 計画の策定に当たっては、
  - ① 学級定員増や学級増減基準の改悪など生徒に新たな負担を強いたり、教育条件を悪化させるようなことをしないでください。
  - ② 学校現場の実情を無視した一方的なやり方を繰り返さず、生徒・保護者・教職員の声を十分に聴いて反映させてください。

以下に、そのやり取りの趣旨を記します。少々長いですが、ぜひお読み下さい。

**守る会：**（要請内容を読み上げて）回答をお願いします。

**都：** 1について…基本的に、定時制は全日制で落ちた方々が移ってこれられると考えています。したがって、学ぶ意欲がある方が1人でも多く受けられるように現在公私連絡協議会で協議しているところです。中長期計画ということで5年間のスパンでやっています。第3次計画が26年度で終了しますので、今後、第4次計画の公私の受け入れ分担はきちんと整理していくこと、私学の充足率が低いということから、そこら辺の協議をして行こうと思っています。ちょうど進めようとしているところです。

2について…大きな問題です。募集停止校の再開ということですがけれども、子供たちが増えていくことも想定されますので、全日制課程の募集人員を適切にまず措置していくということを考えていますし、そこから溢れた人達についても何とか救っていかうと考えていますので、改めて定時制の募集枠を増やすとか募集停止したところを復活するということは、大変申し訳ないのですが、今の段階で考えていません。

3の①について…計画の策定にあたっては、これまでも学級編成基準の適正化ということを念頭に入れてやっていますので、今後、必要に応じ十分関係部署と連携しながら、検討していきたいと考えています。

3の②について…農業高校定の増学級については、1人でも多くの生徒受け入れるという姿勢でお願いしてきた経緯がありました。また地域な配慮や施設の状況を加味しながら対応してきたところですが、関係部署との調整は大事なことで、引き続き調整し対応したい。

**守る会：** 私学は計画に対して実績は低いですよ。そこが溢れる原因になっていると言われているのですが、その辺は都側からも問題提起をされていますか。

**都：** こちらも問題提起していますけれども、私学は公立が取りすぎではないかと、あるいは授業料の無償化で公立の人気の高いので、公立が取りすぎではないかと言っているところがありますね。

**守る会：** 計画段階で公私のやりとりがあるのはわかりますが、現実に全日制に行けない生徒が溢れているという状況がありますよね。

**都：** その部分については私学側も私たちも十分認識しています。

## 多摩地区は定時制が足りない

守る会： もう一つ、全日制希望者が定時制に回ってくるということ自体はそんなに違ってないんですが、関連して2点ぐらい補足しておきます。

多摩地域では、立川高校は一次で溢れてしまいますよね。多摩の場合は明らかに一次の段階でも学校が足りないのです。特に八王子地域の子どもが行き場を失っています。二次募集枠がほとんどない。全日制から回ってくる生徒がいるにしてもベースが小さい。そのあたりをどう考えているかということ。

もう一つ。全日制を受けて受からない生徒がいるのですが、チャレンジとか昼夜間で落ちる子がいる。この学校は定時制課程ですよ。そこで多くの生徒が落ちること、この問題をどうみるかということがあると思うのです。全日制の枠を増やすということは基本的なことだとしても、定時制についても何とか手を打たなければならぬのではないのかというのが我々の問題意識なのですが。

都： 増えた子供たちについては、当然、全日制で枠を増やします。多摩の学校を増やすなど地域格差に視点を当てた増やし方をしていきます。

守る会： 今年、定時制二次の不合格者は正確に何人ですか。

都： 2次募集の不合格者は32名です。

守る会： 来年度の中学卒業生は、今年度よりどのぐらい増えるのでしょうか。

都： 600名増えます。

守る会： チャレンジや昼夜間についてはどう考えていますか。

都： チャレンジは学科試験がないということもあるのかなと思うのですが、人気が高くて、倍率が高ければよいということではないので、中長期的な高校改革の中で検討していく課題だと思います。600名も増えていくので、学級増をふくめてどう対応していくのかという中で検討するしかないかなと思っています。

守る会： 今、私立の広域通信制とか、サポート校とかというのが高校に行けなかった生徒を吸収しているという現状があると思っています。あれも私立学校といえど私立学校ですが、たぶん就学計画の枠には入らないだろうと思います。都教委としては、その辺の現実をどのように考えていますか。

都： 初めて聞いたので。

## 募集再開をぜひ！

守る会： 定時制高校が減ると通信制に流れるということがあります。定時制高校は近くにないといけない。定時制にニーズがないというよりも地理的に定時制に行けないという現実がある。以前から定時制の通学時間は30分以内という議論があり

ました。そういう問題提起ということで検討してもらえればと思います。八王子は4つの定時制がなくなって溢れている。最低限あそこは見直したほうがいいのか。募集再会は考えていないということですが、八王子については是非考えてもらいたいと思います。

農業高校定時制の増学級というのは久しぶりですよ。定時制も溢れそうだという判断があったのですか？

都： 六郷工科高校のデュアルシステム課程を定時制で募集していたのですが、全日制で募集することになったので、多摩地域の学校ということで増学級しました。

守る会： デュアルは工業科ですよ。

都： そうですが、定時制で募集するなら普通科のほうが良いということ。

守る会： そうすると定時制の募集枠はプラスマイナス1で変わらないということですか。

都： 地域のバランスを考慮しました。

守る会： 学級基準の変更は？

都： 定時制の学級編成基準は昨年度見直しをしたので、今年度見直しを行う計画はありません。

守る会： 昨年度どこが変わったのですか。

都： 財政当局に強く求められたこともあり、2年生以上の学級について5月1日の生徒数に対して、過去3年間の退学者の数、転編入の数も反映させるようにした。

守る会： その結果かなり学級数の変動がでたのですか。

都： 学級数は3校で4学級ぐらい減っている。かなり大きく生徒数が減らないと学級数が減らないようにはなっています。

守る会： 最後に、強く要請したいのは八王子の問題です。立川・八王子の状況は看過できないと思っています。多摩のどの学校も少しでも応募者が増えればすぐ不合格者がでかねない状況です。2次募集の募集枠がほとんどない。どうみても絶対数がたりないのです。定時制の募集枠も検討していただきたいということを繰り返して要請したいと思います。

都： 今の段階ではということで、多摩の部分を改善してほしいということはどうかがいました。

守る会： 特に募集再開を要望して今日は終わりたいと思います。